

田染設備工業株式会社

2022年度 環境経営レポート

(対象期間：2022年 8月～2023年 7月)



発行日： 2023年11月22日

改定日：

I. ごあいさつ

田染設備工業株式会社は、1966年の設立以来、管工事業等に係る営業活動において快適な設備環境システムをお客様に提供し、地域社会から信頼される企業を目指しています。環境活動を経営の最重要課題の一つと位置づけ、環境への取り組みと環境負荷の削減に努め、環境経営を継続的に改善していくことで、持続的発展が可能な社会の構築に貢献します。

環境経営方針

当社は、各社員が環境活動への取り組みの重大性を自覚し、自然環境を大切に、明るい未来のために事業活動を通じて次の項目に取組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
(電力、ガソリン、軽油)
3. 廃棄物の削減とリサイクルを推進します。
4. 水道使用量の削減を推進します。
5. 環境に配慮した施工を推進します。

本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日	2010年6月1日
改定日	2023年11月22日
代表取締役	永尾 尚子

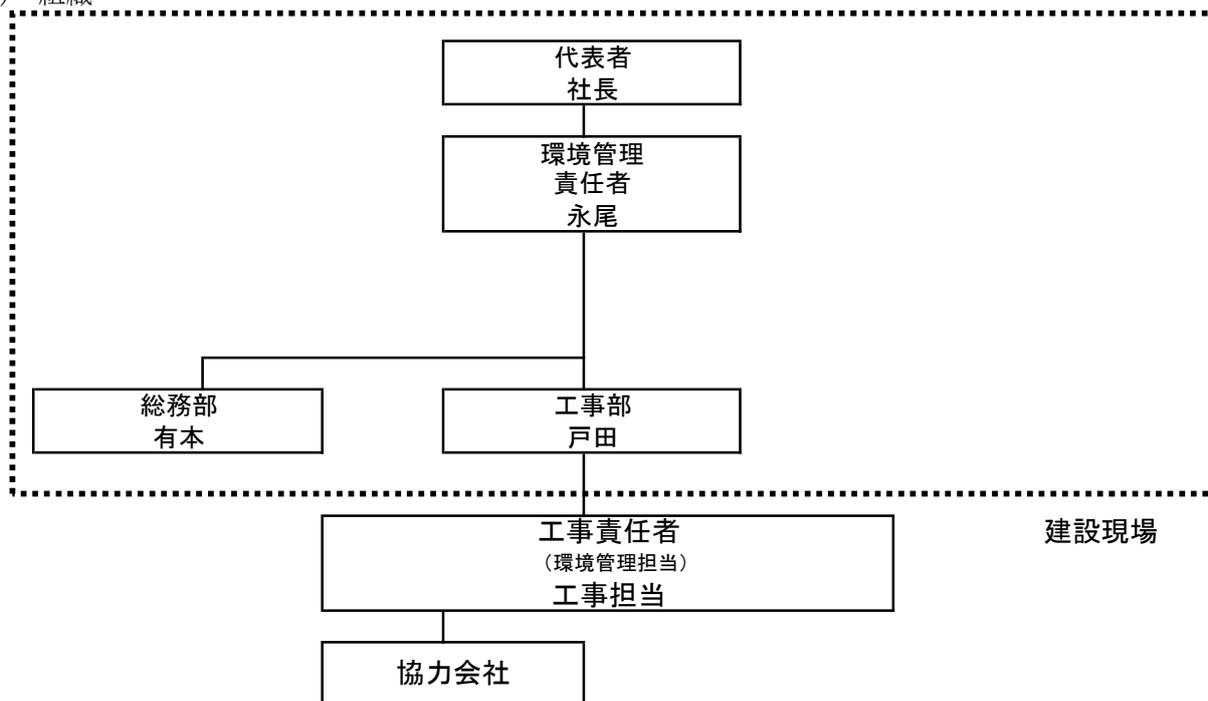
II. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
 田染設備工業株式会社
 代表取締役 永尾 尚子
- (2) 所在地
 本 社 〒670-0048 兵庫県姫路市船橋町4丁目3-17
 倉 庫 〒670-0983 兵庫県姫路市井ノ口171-1
 資材置場 〒671-2244 兵庫県姫路市実法寺115-1
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
 責任者 代表取締役 永尾 尚子 TEL:079-296-1010
 担当者 事務局 有本 美穂 FAX:079-296-1012
 E-Mail : soumu@tashibu.com
- (4) 事業内容
 管工事業 土木工事業 水道施設工事業 舗装工事業
 許可番号(管) 兵庫県 知事 特 第450550号 許可年月日 令和3年11月20日
 許可期限 令和8年11月20日
 許可番号(土木) 兵庫県 知事 般 第450550号 許可年月日 令和3年11月20日
 許可期限 令和8年11月20日
- (5) 事業の規模
 設立 1966年
 資本金 3千万円
 売上高 4億7千万円(2022年度実績)

各事業所の規模

	本社	倉庫	資材置場	合計
従業員(名)	11	0	0	11
延べ床面積(m ²)	135	652	0	787
敷地面積(m ²)	388	134	1,375	1,897

(6) 組織



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認 課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 環境教育訓練計画の作成と実施の管理 特定された項目の手順書作成（緊急事態への対応を含む） 環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の運用管理 緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 (現場代理人)	<ul style="list-style-type: none"> 建設現場における環境経営システムの実施 工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 建設現場の環境活動計画の実施及び達成状況の報告 緊急事態対応訓練の実施、記録の作成 建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(7) 事業年度

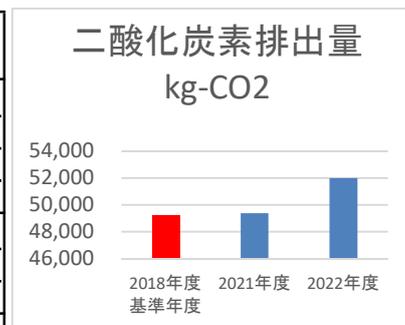
8月～翌年7月

III. 認証・登録の対象範囲

登録組織名： 田染設備工業株式会社
 対象事業所： 本社 倉庫 資材置場
 対象外： なし
 活動： 管工事業 土木工事業 水道施設工事業 舗装工事業

IV. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年度 基準年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	49,239	49,382	52,011
電力使用量	kWh	24,923	21,933	18,890
ガソリン使用量	L	5,801	7,130	7,668
軽油使用量	L	10,457	9,452	10,955
廃棄物排出量				
一般廃棄物	kg	72	161.0	31
産業廃棄物	t	1,700.0	116.3	159
水使用量	m ³	68	64	64



V. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

項目		年度	2018年度 基準年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂		49,239	48,746.6	48,254.2	47,761.8	47,269.4	46,796.7
	対基準			△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
電力使用量削減	kWh		24,923	24,673.8	24,424.5	24,175.3	23,926.1	23,686.8
	kg-CO ₂		8,324	8,241	8,158	8,075	7,991	7,911
	対基準			△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
ガソリン 使用量削減	L		5,801	5,743.0	5,685.0	5,627.0	5,569.0	5,513.3
	kg-CO ₂		13,458	13,324	13,189	13,055	12,920	12,791
	対基準			△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
軽油 使用量削減	L		10,457	10,352.4	10,247.9	10,143.3	10,038.7	9,938.3
	kg-CO ₂		26,979	26,709	26,439	26,170	25,900	25,641
	対基準			△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
II. 廃棄物排出量削減								
1) 一般廃棄物 削減	kg		72	71.28	70.56	69.84	69.12	68.43
	対基準			△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
2) 産業廃棄物 削減	t		1,700.0	1,683.00	1,666.00	1,649.00	1,632.00	1,615.68
	対基準			△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
III. 建設リサイクル率 の向上	%		70	70.7	71.4	72.1	72.8	73.5
	対基準			+1%	+2%	+3%	+4%	+5%
IV. 水使用量 削減	m ³		68	67.3	66.6	66.0	65.3	64.6
	対基準			△1%	△2%	△3%	△4%	△5%
VI. 環境に配慮した 施工の推進	%		100%	100%	100%	100%	100%	100%
	対基準							

注) 電力は関西電力(株)と大阪ガス(株)(排出係数は0.320kg-CO₂/kWh)より購入しているが二酸化炭素排出係数は評価の便宜上、関西電力(株)の0.309kg-CO₂/kWhを使用。

(2) 取組期間の実績

項目	年度	2018年 8月～7月	取組期間における実績 (2022年8月～2023年7月)			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	49,239	47,269	52,011	91%	△
			△4%	+5.63%		
電力使用量削減	kWh	24,923	23,926	18,890	127%	○
	kg-CO ₂ 対基準	8,324	7,393	5,954		
			△4%	-28%		
ガソリン 使用量削減	L	5,801	5,569	7,668	73%	×
	kg-CO ₂ 対基準	13,468	12,929	17,792		
			△4%	+32%		
軽油 使用量削減	L	10,457	10,039	10,955	92%	△
	kg-CO ₂ 対基準	27,443	26,346	28,264		
			△4%	3%		
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	72	69.0	31.0	223%	○
			△4%	-57%		
産業廃棄物削減	t 対基準	1,700	1,632	159	1026%	○
			△4%	-91%		
III. 建設リサイクル率 の向上	% 対基準	70	73	99.4	136%	○
			+4%	42.00%		
IV. 水使用量 削減	m ³ 対基準	68.0	65.0	64.0	102%	○
			△4%	-5.88%		
VI. 環境に配慮した 施工の推進	% 対基準	100	100	100	100	○

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（90%～100%未満）、×：未達成（90%未満）

注3) 建設リサイクル率の実績＝再資源化量／産業廃棄物発生量

注4) 環境に配慮した施工：①環境に配慮した工法の開発、提案、②環境にやさしい資材の採用、③長寿命の資機材への切替え

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 (目標未達成)		
(下記の通り)	×	(下記の通り)
電力使用量の削減 (目標達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	○	各従業員の意識の向上もあり空調温度は適正化が推進されている。
・サーキュレーター ^① の設置	○	頻繁に使用する部屋に設置できた。
・不要照明の消灯	○	階段、部屋の照明は全灯せず必要箇所のみとし、不要なら消灯。
・設備の空運転禁止	○	昼休みなど長時間不使用時には対応できたが、今後は、もっとこまめに入・切の操作をする。
ガソリン使用量の削減 (目標未達成)		
・アイドリングストップ	△	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。
・効率的な移動	△	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。 次年度も、左記取組を継続する。
軽油使用量の削減 (目標未達成)		
・重機の空ふかしの禁止	△	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・アイドリングストップ	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。
・空気圧、オイル等の点検	△	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。 次年度も、左記取組を継続する。
一般廃棄物の削減 (目標達成)		
・実態調査	○	正確な排出量を把握する工夫をする。
・分別の徹底	○	分別が自然にでき、各自の意識の向上を感じる。 今後も正確な排出量を把握しながら、削減に努める。
産業廃棄物の削減 (目標達成)		
・実態調査	○	正確な排出量を把握する工夫をする。
・素材ボックスの設置	○	分別ができ、状態が把握できるようになった。
・保管場所の掲示板を設置	○	産業廃棄物の保管場所の届出は提出されている。
建設リサイクル率の向上 (目標達成)		
・分別によるリサイクル推進	○	工事の内容により排出する産業廃棄物が異なるが今年度は達成した。
・仮設資材の再利用の推進	○	仮設資材を修理することで再利用に努めた。 次年度も、左記取組を継続する。
水使用量の削減 (目標達成)		
・節水の周知徹底	○	節水の呼びかけを継続する。
・節水シールの貼付とポスター掲示	○	簡単なポスター等を掲示した結果、意識が向上した。
・清掃時・手洗い時の節水	○	今年度も感染症対策の為、手洗い等の頻度は増えた。止水の呼びかけをした。
環境に配慮した施工の推進 (目標達成)		
・工事分野別の技術・ノウハウの収集	△	各種工事分野の環境配慮工法について調査を開始。 引き続き継続する。
・環境配慮施工の推進	○	可能な限り環境に配慮した施工を実施した。 次年度も、左記取組を継続する。

VII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者（家電販売店）への引き渡し	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な事業者（引取登録事業者）への引き渡し	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守	—
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
排出ガス対策型建設機械普及促進規定	低排出ガス対策型建設機械の使用の普及・促進	遵守
消防法	消火設備の定期点検（防火対象物） 事故時の措置と届出（通報）	遵守
姫路市火災予防条例	火災発生の恐れのある機器の取扱基準の遵守、指定数量未満の危険物・可燃物の貯蔵の届出及び技術基準の遵守、	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守

環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。

尚、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

VIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は、良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、エコアクション21に取り組んで来ました。しかしながら、環境推進委員の間では活発な意見の交換、勉強会などを開催していますが、一般社員や非正規社員への徹底はまだ不十分であります。

節電、節水、エコドライブなどの省エネについては、今後より一層努力をして行く必要があります。また、3Rなどの無駄をなくす取り組みは、社内活動として定着して来ているので、今後は更なる啓蒙活動を行い、全社員への徹底を図って行く必要があります。

全体的には、非常に厳しい経済状況の中、投資をなるべく抑えて、目標を設定して実行し、目標を達成して来たことは、非常に評価出来ると思います。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	—
環境経営目標	否	—
環境経営計画	否	—
実施体制	否	—
その他	否	—

2023年 11月 15日
代表取締役 永尾 尚子

環境への取組状況の紹介



<エコアクション掲示板>
社員・来客が必ず通る場所に設置しています。



<ごみの分別>
ゴミ箱には分別をわかりやすく表記しています。



<省エネ>
各階メインスイッチには節電を意識づけする貼り紙を。



<環境配慮の施工>
低振動・低騒音の重機を使用。



<清掃活動>
近隣の公園を定期的に清掃しています。



<消火訓練>
今回は消火器の届く距離や消火を始めるタイミングなどを指導してもらいました。